

二〇二三年度 トキワ松学園中学校入学試験
適性検査型 適性検査I B 問題用紙

受験番号

開始と同時に受験番号を
書き入れなさい。

問題 次の[A]、[B]の文章、[C]の会話文を読んで、あとの(1)～(9)の各問いに答えましょう。なお、問題作成のため、一部文章を省略してあります。

[A]

2020年初頭から始まったコロナ禍では、それぞれの国が単独でロックダウンしてもウイルスを根絶させることはできないし、他国との往来を長時間絶つことも現実的に不可能だという状況に追いこまれました。これらの苦しみを通じて「これからは世界中が連帯して未来を創っていくことが必要なのだ」と、人々が実感したと思います。まるで世界中が急に近所さんになったような感覚ですよ。

今、世界で最も多くの人々が連帯して挑んでいるテーマが、国連が掲げる〈SDGs (持続可能な開発目標)〉の達成です。2015年の国連サミットで合意された、2030年までに持続可能(サステナブル)でよりよい世界を目指すための国際目標で、「誰一人取り残さない」状態で達成されるべき17のゴールとそれに紐づく169のターゲット、232の指標で構成されています。

日本も国連加盟国として、達成に向けたさまざまな取り組みをされています。

(略)

世界中で新型コロナウイルスの防疫対策に取り組んでいない地域はほぼ存在せず、共通の関心事ができたことにより、地理上は遠い場所

同士であっても互いをサポートできるようにしました。(略)

ウイルスには国境がありませんし、ワクチン接種する者の割合を上げることは世界中の人類にとって急務ですからね。

こうして〈SDGs〉の三つ目のゴール「保健…すべての人に健康と福祉を」は、世界中の共通の話題として討論されることになりました。〈SDGs〉はこのゴール以外にも、多くの世界共通語を含んでいるのです。

〈SDGs〉の根底にもなっていて、現在非常に大事にされているのが「インクルーシブ」という考え方です。多様性を重視しようという^①チヨウ流の中で、「誰も取り残さないようにしよう」と皆が呼びかけあっています。社会に参加することは^②権利であり、身体や(あ)、(い)などいかなる理由があっても、一人ひとりに対して平等に与えられているものなのです。

ただ一人ひとりの状況は異なりますから、私たち政府はさまざまな方法で多くの意見をすくい上げたり、今まさに社会のどこかで起こっている現実を知る必要があります。

オードリー・タン(語り) 近藤弥生子(執筆)

『まだ誰も見たことのない「未来」の話しよう』SB新書

「自己の在り方生き方」というのは、（　　）

を言ったものです。これまでの勉強は、「将来役に立つから、まず一定の知識や技術を身につけておきましょう」と言われて、さまざま科目を学ぶようになっていました。「ア」、今身につけなければならぬとされている知識が、自分の将来とどのようにむすびついていくかわからないと、学ぶ意欲があまりわかないでしょう。自分の将来の生き方を思い描きながら、そこでどのような知識や技術が必要となってくるかを想像してみる時間が必要です。

「自分の将来」というと皆さんは、すぐに就業のことばかりを考えるかもしれませんが、それだけではありません。「イ」、あなたは、将来はパティシエになって、自分でお店を開きたいと思うかもしれません。そうした生活でも、家庭と仕事をどう両立させるか、地域の人とのつながりはどうするか、こうしたことが気になりますね。お店を営むには、いろいろな経営の知識や、資格や営業許可など法律の知識も必要です。自分の営んでいる店が属している地域の商店会で、市議会に候補を立てようということになるかもしれません。そうなること、政治にも関係してきます。もしかすると商店会で土地利用の問題が起こって集団で訴訟を起こすことになるかもしれません。そうなること、司法や裁判にも関係してきます。学校で勉強することが、自分の人生のなかでどうつながっているか知ること、科目の内容を知ることと同じくらいに重要です。

そして自分の人生で、今何をすべきなのか、どうすれば自分の目標を達成できるのか、どういう人生が幸せな人生なのか。自分にとって何が課題なのかを発見し、それがどうすればよくなるのか、その解答を見つけていく、これが本当の勉強のほうです。

(略)

これからの社会は、「^③研究すること」と「生きていくこと」とが分離できない社会になっていくからです。とりわけ、仕事（働くこと）と研究の結びつきは今よりも強くなっていくでしょう。

「ずっと、学ぶ」ことが大切というのはわかるけど、「研究」というのはおおげさじゃないかな」と思うかもしれません。しかし、ここで言う「研究すること」とは、知識を暗記したり、与えられたテスト用紙の問題を解いたりするようなことでは、もちろんありません。科学の実験のように実験器具や装置に囲まれてするものだけを研究と呼んでいるわけではありません。

ここで「研究」と呼んでいるのは、自分の人生の中で出会う実際の課題を、知的な探究の対象として深掘りして、さまざまな知識やスキルを総動員して何とか解決しようとする事、そしてそれを、後の自分のために、他の人のために、整理して再び知識やスキルとして保存していくこと、そういう意味での研究なのです。要するに私たちは、社会のさまざまな場面において、隠れていた問題を見つけ、それを調べて、解決するという過程が求められている時代に生きています。

河野 哲也『問う方法・考える方法』ちくまプリマー新書

さとる・何か自分にも社会のためにできることはあるかなと考えたのですが、やっぱり自分には何もできないと思ってしまいました。

先生・何か完ぺきなことをしようとしても、自分にはそれだけの能力がないからといってそれをあきらめ、また別のことを思いついてはそれもまたあきらめていたら、最後にはもう何もする気が起こらなくなってしまった：なんていうことになってしまいましたね。

まり子・完ぺきでなくてもよければ私にも何かできそうな気がします。

りさ・身近にいる友達やご近所さんたちが、今、何に悩んでいるかを思いうかべたり、実際に聞いてみようと思います。

先生・そうですね。完ぺきである必要などまったくないのです。自分でできることは何か、どのようにしたら少しはよい方向にすることができようか、と相手の立場に立って物事を考えるところからスタートです。

まり子・ほんの少しよくなりました、ちょっととした部分を改善したただけで、たくさんの人を幸せにすることができるともありませんね。

たけし・ぼくも祖父に聞いてみたことがあります。車いすでは町の中の小さい段差でものぼれないことを知り、将来、老人でも安心して暮らせる街まちにするために研究したいと思っています。

先生・すばらしいですね。(え) な社会にするために、

エレベーターやスロープをつくったり、ユニバーサルデザインというすべての人にも対応できる商品ができたりしています。が、皆さん知っていますか。

さとる・目の見えない人のためにシャンプーやリンスのボトルに印があるというのを聞いたことがあります。

まり子・先生、私は昨日、テレビで難民の人の生活の様子を見ました。小さい子どもが学校にも通えずにいることに驚きました。その人たちのために今すぐ私にできることはないかもしれないけれど、そういう人がいること知って、どうしたらいいか考えることはできると思います。

りさ・今日は帰りに私の家の裏に住んでいる一人暮らしのおばあさんの家に寄ってお話をしようと思いました。

先生・全員を包み込む社会を「インクルーシブ」な社会と言います。あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合うという意味です。すべての人が当たり前前に幸せに生きられる未来の社会を創って行くのはまさに、皆さん達なのです。そのためにも「当たり前」や「常識」「思い込み」に縛られず、自分の外にある、見えないもの
のことを考えることから始めてみるのが大切です。

(1) [A]の——線①「チヨウ」と同じ漢字を使う熟語を一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 山チヨウウからの眺めがよい
- 2 景気回復のチヨウウ候が見られる
- 3 気象庁はチヨウウ位を観測する
- 4 豆腐を一チヨウウ買う

(2) [A]の——線②「権利」の対義語(反対の意味の言葉)を一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 責任
- 2 任務
- 3 義理
- 4 義務
- 5 自由
- 6 自任

(3) [A]の(あ)(い)にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを一つ選び、番号で答えましょう。

- | | | | |
|------|----|------|----|
| 1 精神 | 言語 | 2 人格 | 自然 |
| 3 季節 | 性別 | 4 差別 | 生物 |
| 5 文化 | 順序 | | |

(4) [B]の(う)にあてはまる言葉として最も適切なものを一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 自分を深く見つめて本当にやりたいことを見つけることの重要性
- 2 学校で習うことを自分の人生と結びつけることの大切さ
- 3 学ぶ意欲を高め、向上心を持って学習に向かう訓練
- 4 自分の将来を計画的に決めて目的をもって生きる方法

(5) [B]の【ア】【イ】にあてはまるつながりの言葉として最も適切なものを一つずつ選び、それぞれ番号で答えましょう。

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 1 そして | 2 たとえば | 3 ところで |
| 4 でも | 5 しかも | |

(6) ① ② ③ 「研究すること」と「生きていくこと」が分離できない」について、次の問いに答えましょう。

① ここで言う「研究」とはどのようなことを指しますか。最も適切なものを一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 実験をくり返して答えを導くこと
- 2 学校で習ったことを暗記して覚えること
- 3 課題を探究し解決しようとする事
- 4 書籍しよせきを使って調べて一つのレポートを書くこと

② 「研究すること」と「生きていくこと」が分離できない」とありますが、それはなぜですか。説明しましょう。

(7) ① ② ③ ④ の会話文の説明として、最も適切なものを一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 自分には何もできないと落ち込んでいるさとりが完ぺきできるようになる方法についてみんなで色々考えてあげている。
- 2 その立場に立って物事を考えることが大切であることを先生はみんなに知らせたいと思っている。
- 3 少し改善するだけでは何も変わらないので、何か目に見える変化を起こすべきだとたけしさんは考えている。
- 4 まり子さんはまずは自分の身内であるおばあさんにできることをしてあげようと考えた。
- 5 すべての人が当たり前前に幸せに生きられるようにするために法律や制度を変える必要があると先生は教えている。

(8) ① ② ③ ④ の(え)にあてはまる最も適切な言葉を一つ選び、番号で答えましょう。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 バリアフリー | 2 インターナショナル |
| 3 メディアリテラシー | 4 バーチャルリアリティー |
| 5 パンデミック | |

(9) 世界が連携して未来を創る時代において、インクルーシブな社会を実現するために、あなたはどのように学び、行動しようと考えますか。後ろの【注意事項】に合うように書きましょう。

【注意事項】

○ 解答用紙に三百字以上四百字以内で書きましょう。

○ 原稿用紙の正しい用法で書きましょう。また漢字を適切に使いましょう。

○ 題名や自分の名前は書かずに、一行目、一マス下げたところから書きましょう。

○ 三段落以上の構成で書きましょう。

○ 句読点（、。）やかっこなども一文字に数え、一マスに一字ずつ書きましょう。また、段落を変えた時の残りのマス目も字数として数えます。

